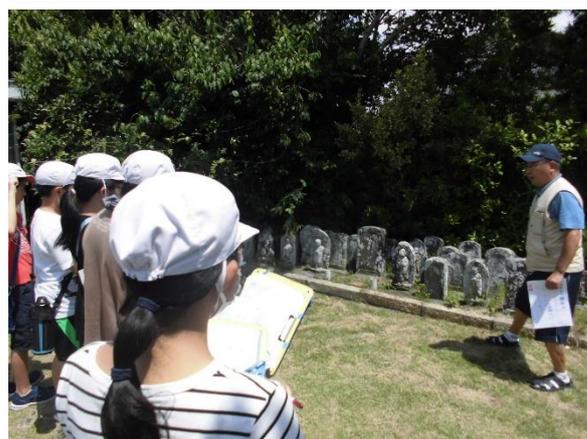


令和6年度

第2回積志小学校学校運営協議会



令和6年7月31日（水）

浜松市立積志小学校

令和6年度 浜松市立積志小学校 学校運営協議会

会 長	渥美 年弘 様
副 会 長	高林 次枝 様
委 員	村田富佐子 様
委 員	小林 博典 様
委 員	高林亜衣子 様
委 員	竹内 涼子 様
委 員	市川 和廣 様
委 員	森川 学 様
委 員	伊達 麻絹 様
委 員	尾上 幸穂 様

《学校職員》

校 長	佐藤 匡子
教 頭	矢作 実
主幹教諭	児玉健一郎
担当教諭	森山 貴史
C Sディレクター	杉浦 浩

第2回積志小学校運営協議会

日時:令和6年7月31日(水)

14:00~15:30

場所:積志小学校会議室

【司会:森山】

1 会長あいさつ

2 校長あいさつ

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議【進行:議長】

(1) 学校の取り組みを聞いて、地域・保護者としてできること

○ 趣旨説明

○ 教職員との意見交換

○ 熟議

A 渥美委員・村田委員・竹内委員・尾上委員

B 次枝委員・伊達委員・市川委員・森川委員

6 連絡

(1) 関係各所からのお知らせ

(2) 今後の開催曜日、時間について

○ 第3回 第3回 令和6年10月11日(金) 14:00~15:30(予定)

(3) その他

令和6年度 第1回 積志小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月24日（金） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 積志小学校 会議室
- 3 出席委員 渥美 年弘、小林 博典、竹内 涼子、市川 和廣、森川 学、
伊達 麻絹、尾上 幸穂
- 4 欠席委員 高林 次枝、村田富佐子、高林亜衣子
- 5 オブザーバー 小池 誠（積志協働センター）
- 6 学 校 佐藤 匡子（校長）、矢作 実（教頭）、児玉 健一郎（主幹教諭）
森山 貴史（CS担当教諭）
- 7 教育委員会 なし
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）積志小学校運営基本方針について
 - （3）積志小学校いじめ防止基本方針について
 - （4）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 10 会議録作成者 主幹教諭 児玉 健一郎
- 11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から竹内委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）積志小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 異学年交流はよいことである。登校時にしぶっている子供がいたが、上級生が声をかけてくれたおかげで、今は登校できるようになった。（市川委員）
- ・ （ボランティア活動・学びの教室づくりについて）自治会でも協力をしていきたい。事前に連絡をいただいた上で対応したい。（市川委員）
- ・ ボランティア活動充実のために、今年度は内容や依頼方法等自治会と連携して、仕組みづくりを行っていきたい。（竹内委員）
- ・ ボランティア活動は、現状関係ある人しか伝わっていない。ボランティアの輪を広げていくことは難しい。（渥美委員）
- ・ もっと地域にアピールしたほうがいいのでは。「これがほしい。」と依頼を出し、それを自治会に伝えてもらう。自治会には大工さんがいて、くぎ打ちのお手伝いができる。（市川委員）

- ・裁縫の学習は、もう少し人がいるとよい。(渥美委員)
 - ・スケジュールが決まっているとよい。(伊達委員)
 - ・紙で分けると、周知に時間がかかる。(小林委員)
 - ・地域回覧にすると、時間がかかってしまう。(伊達委員)
 - ・名簿作りをしていきたい。自治会にはこんなことができる人がいるって学校に知らせることができる。(市川委員)
 - ・地域の人に周知することについて、今後検討していきましょう。(竹内委員)
- ・協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 積志小学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、主幹教諭から別紙資料に基づき、いじめ防止基本方針について説明があった。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、主幹教諭から、別紙資料に基づき意見書の内容について説明があった。

その他報告事項等

主幹教諭から、次回会議は、令和6年7月26日(金)会議室で開催する旨の報告があった。

1 学期の学校支援活動の紹介

5月1日 「農園の整備」 13人

たんぼぼ学級が使用している農園の雑草をとったり、土を柔らかくしたりして整備をしてくださいました。うるしじま農園のみなさんと保護者の方が参加してくださいました。



5月22日 「プール清掃」 29人

6月から始まるプール学習に向けて、プールサイドの清掃をしてくださいました。下校後に時間を設定したため、保護者だけでなく子供たちも多数参加していました。



6月3日～（3日間） 「3年生社会科 農家の見学」

約10人（のべ約30人）

3年生が、農家の仕事についてうるしじま農園さんへ見学に行きました。地域のみなさんが育てている野菜の種類や手入れの仕方、農機具などを紹介してくださいました。



6月7日 「6年生総合 積志の史跡巡り」 8人

6年生が史跡をめぐり、積志の歴史について勉強しました。様々な場所に地域の方々が立ってくださり、その史跡について歴史的背景などを話してくださいました。



6月26日 「2年生地域探検 交通ボランティア」 3人

2年生が地域探検をする際、地域の交通ボランティアの方々が、列の前後についてくださったり、交通量の多い横断歩道で渡る手助けをしてくださったりしました。



6月18日～ 「5年生家庭科 裁縫ボランティア」

のべ22人

5年生の子供たちは、家庭科の授業で、初めて裁縫を行います。玉止めや玉結びなど、子供たちにとっては難しいことですが、地域のみなさんに来ていただき手助けをしていただきました。



①健康になろう 部会

つよい子

たくましい心と体をもち、最後まで自分の力でやりぬく

【重点】

1. 主体的・継続的な体力づくり

○「きたえようカード」に取り組む

- ・新体力テストの練習やなわとびなど、様々な運動を取り入れたカード(レベル別)から、自分で挑戦するものを選ぶ。

2. しなやかで強い心づくり

○レジリエンス力を育む活動

- ・朝活動の時間(毎月16日前後)に、「レジリエンス」をテーマとした「心の日」を実施する。
- ・保健週間、学校保健委員会の保健指導のテーマとして「レジリエンス」を扱う。

3. 気付き、考える安全意識づくり

○自分事として考える交通教室、訓練の実施

- ・自分の身を守るための方法を考えられるような活動内容にする。
- ・身体測定時の保健指導で、危険予知トレーニングを行う。

知^知とともに学ぼう 部会

しんけんな子

自己実現を目指し、友達と高め合いながら、主体的に学ぶ

【重点】

1. 学びに向かう学習集団づくり

- 学習ルールの明確化
 - ・基本的な学習ルールを指導し、学習の基盤をつくる。
- 伝え方・聴き方の習得
 - ・相手の話を理解しようとして聴く。
 - ・分かりやすく伝える。

2. 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- 魅力ある単元構想
 - ・子供が意欲を高める課題を設定する。
 - ・ICT、体験活動、地域人材を活用する。
- 多様な学び方の設定
 - ・学び方を自ら選ぶ学習活動の設定。
 - ・単元に個別最適な学びと協働的な学びを意図的に組み込む。

3. カリキュラム・マネジメント

- 教科等横断的な単元学習計画
 - ・教科等の年間計画を見通し、関係している単元を関連づけて指導する。
- 地域学習（生活・総合・社会等）
 - ・地域の教材や人材を発掘し、積極的に活用する。



温かくかかわろう部会

みとめあう子

進んで友達とかかわり、多様性や互いのよさを認め合う。

【重点】

1. 異学年交流

○子供が企画する交流遊び

- ・ 昼休みに他学級と交流遊びを行う。各学級に交流遊び実行委員を設置し、企画・運営を行う。
- ・ 学級のシールを交換し、学級や昇降口の掲示板に交流の足跡を記録する。

2. 一人一人の活躍の場づくり

○子供による学級や学年イベントの運営

- ・ 学級や学年イベント実施の際に実行委員を組織し、子供たちの主体的な活動となるよう、子供たちのアイデアをもとに運営する。

○委員会・係活動の自主的取り組み

- ・ 常時活動以外にも、子供たちの創意あふれる活動ができるように、担当や担任から子供たちに声掛けする。

3. 互いの良さの認め合い

○良さを認める雰囲気づくり

- ・ 「虹の架け橋プロジェクト」としてポストを設置し、全校から良い行いをした子供たちを募集する。4・5月は、教職員と6年生を中心に募集し、その後は全校へ広げていく。

○放送や掲示による称揚

- ・ 良い行いを放送で紹介する。昇降口の掲示板に称揚の場を設け、放送後に生徒指導主任が中心となって掲示する。